

由良地区の堤防整備イメージが検討会で了承

～「第3回由良地区堤防景観検討会」を開催～

福知山河川国道事務所では、宮津市由良地区の堤防整備に向け、河川工学、地域史や地域住民の活用等の多様な視点から意見を頂き、整備方針を決定するため、「由良地区堤防景観検討会」において、検討してきました。

今回の第3回検討会で、これまで頂いた委員及び住民のヒアリングに基づいた整備コンセプトを共有し、整備イメージについて了承されました。今後、この整備イメージに基づき、整備を進めてまいります。

概要

- 日時：令和4年2月1日（火）10：00～11：15
 - 場所：由良の里センター 2階 会議室
 - 検討会委員：明石工業高等専門学校 教授 神田委員（座長）※WEB参加
 京都市立芸術大学 教授 藤本(英)委員
 北近畿タンゴ鉄道株式会社 施設統括本部長 上田委員
 WILLER TRAINS株式会社 工務部長 橋委員
 京都府丹後土木事務所長 米田委員
 宮津市 建設部長 森口委員
 由良地区代表 藤本(長)委員、由良地区代表 藤本(繁)委員
 由良地区代表 岡田委員
- ※尚、今回で本検討会は終了しました



整備イメージ



委員からの主な発言内容

◆堤防法面の処理

（植栽・碎石間詰め）について

- ・将来的に少し緑が出てきて、多自然的な法面・護岸になる。
- ・碎石間詰めとすると草刈りが大変ではないか。美しさが保たれるように維持管理をお願いしたい。

◆松並木の整備について

- ・堤防上や散策路に植樹することは考えてないのか。
- ・神社周辺の芝張り法面とかにシンボリックな工夫や、地元と連携して将来的に記念樹を植えるとか、何か残せればよい。

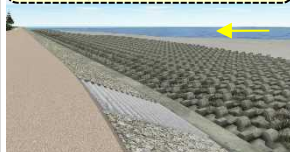
◆手すり（転落防止柵）について

- ・縦格子や色の工夫等でもう少し目立たない工夫ができないか。
- ・背景によって適切な柵の色は変化するが、将来的に緑が増えるという意味であれば現状のダークグレーでよい。

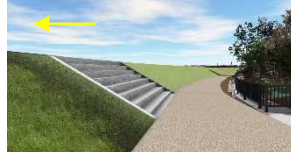
◆照明の整備について

- ・地元の方がどのように利用されるかによるが、階段等に照明を付ける必要はないのか。

◆碎石間詰めを施した大型護岸ブロックと脱色アスファルト自然色舗装で由良湊の記憶を紡ぐ



◆芝張り法面と住宅側散策路整備で、近隣住民に親しまれる堤防へ



◆魅力ある堤防整備により、由良地区全体の回遊性を向上させるネットワークを形成

◆第3回由良地区堤防景観検討会の様子



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 調査課
 〒620-0875 福知山市字堀小字今岡2459-14 TEL 0773-22-5104 (代表)

